

30原地協第 10号

平成30年9月12日

南相馬市長 門馬 和夫 様

原町区地域協議会長 高野 博幸



南相馬市の豊かな地域資源を活用したキャンプが可能な施設の設置についての意見書

原町区地域協議会委員からの提言について協議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので、意見書を提出します。

#### 記

#### 1 原町区地域協議会の意見

山川海といった豊かな自然や過ごしやすい気候、長い歴史と優れた文化を有する南相馬市が震災を乗り越え、百年先にも輝き続けるためには地域資源の活用が欠かせません。しかし、海岸付近にあった各キャンプ場は震災による津波によって全て流失し、この度ハートランドはらまちが廃止になることで、南相馬市にはキャンプができる施設がなくなります。

そこで、私たちは、都会にはない南相馬市独自の豊かな自然を活かし、観光振興や交流人口拡大などが期待できるキャンプが可能な施設を設置することについて検討を行うことを求めます。

なお、検討に当たっては、以下に示す点についてご留意ください。

- 一、今後、海水浴場の再開が予定され、サーフィン等を目的とした市内外からの多くの来場客が見込まれている海側への設置を検討すること。
- 二、海側の高台の災害危険区域外へ当該施設を設置する方法など、柔軟な発想のもとに検討すること。